

日本語学習会 ボランティア募集のお知らせ

倉吉市人権文化センターでは、外国にルーツがある方が安心して日常生活を送ることができるように日本語学習会を開催しています。

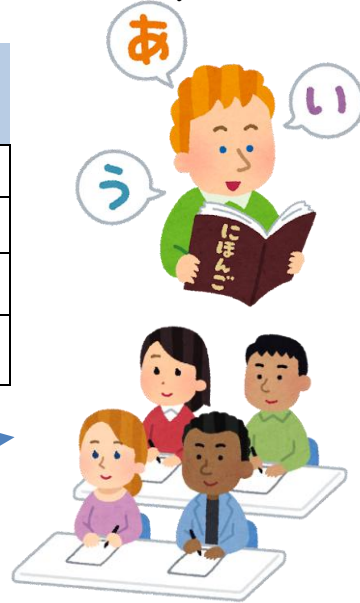
受講者の皆さんと一緒に日本語を学び、指導していただくボランティアの方を募集します。

申込・問合せ… 倉吉市人権文化センター (☎0858 - 22 - 4768)

今後の予定

	昼 間	夜 間
時 間	13:30~15:00	19:30~21:00
令和6年2月	毎週水曜日	7日
3月	毎週水曜日	6日・27日

都合がつく日だけの参加でも構いません！
ご協力、よろしくお願いします！



夢をあきらめていませんか。進みたい路に向かって前進しよう。！

～まだまだ申請できる奨学金制度～ (6年度の締め切り：令和6年4月19日)

鳥取県育英奨学資金は、経済的理由により高等学校（特別支援学校高等部・高等専門学校など含む）に在学する人を対象に鳥取県が育英奨学金を貸与する制度です。奨学資金を活用し、自分の夢に向かって一歩前進してみませんか。

高校奨学金

国公立の高校	自宅から通学	月額 18,000 円	返還：月々3,600 円
	自宅外(下宿・寮)	月額 23,000 円	返還：月々4,600 円
私立の高校	自宅から通学	月額 30,000 円	返還：月々6,000 円
	自宅外(下宿・寮)	月額 35,000 円	返還：月々7,000 円

※返還は無利子で、15年以内とします。

本人が大学などに進学した場合には、返還の猶予を希望することもできます。

奨学金は保護者ではなく本人に貸付けしますので、家族としっかり話し合い、自分の夢に向かって前進してください。

【問い合わせ先】

鳥取県教育委員会事務局育英奨学室 ☎ 0857-29-7145



ますな

倉吉市人権文化センターだより
2024年2月1日 発行 No.156号

発行所：倉吉市人権文化センター

住 所：倉吉市鍛冶町1丁目2971-2

電 話/FAX：0858-22-4768

メールアドレス：jinkenbunka@ncn-k.net

ひとりで食べるよりも
みんなで食べるとなんかおいしい。
話し相手がいるってなんだかうれしいね。

地域巡回食堂 ばあばのランチ

開催
日時

2024年2月23日（祝金）12:00～

開催
場所

倉吉市人権文化センター

連絡先

倉吉市鍛冶町1丁目2971-2 (☎) 22-4768



【問い合わせ】

はばたき人権文化センター 山下
倉吉市福吉町2丁目1514-7

電話：22-0232

メール：habataki@ncn-k.net



特殊詐欺から考える高齢者の人権



特殊詐欺の被害が増えています。だまされないよう注意をしてください。

令和5年度中に鳥取県内で起きた詐欺被害は、被害件数74件、総額2億6,527万円にも及んでいます。被害にあった年齢は60才代44人、続いて70才代12人となっています。

(情報提供：鳥取県警)

還付金詐欺	29件	3,475万円
架空料金請求詐欺	25件	4,733万円
金融商品詐欺(投資など)	5件	5,370万円
オレオレ詐欺	4件	12,177万円

コロナウイルス感染症予防中に一時的に減っていた特殊詐欺が令和5年では左の表のように件数も金額も増えています。特殊詐欺は、家にいる高齢者をターゲットに精神的な弱みにつけ込みことば巧みに誘い込みます。

高齢者をねらい大切な財産を奪うことは、生活していく上で不安な状況に追い込む重大な人権侵害であり、絶対に許されない行為です。



【騙されやすい高齢者】

・「私はだまされない」と過信している人ほど気づかない。ニュースを聞いていると、どうして気がつかないのかなと、他人のことは冷静に判断できるのですが、自分のこととなると巧妙な手口や上手な話にまどわされ、気がつかないうちにだまされてしまうのです。

・**日常の中での情報が少ない。** 高齢により記憶力が低下していくため、一度聞いた情報も忘れがちになり、保険の還付金詐欺や架空料金請求などよく考えればおかしいことに気がつくのですが、「今日中に」「裁判」とか切羽詰まった状況に追い込まれていくとだまされてしまうのです。

・**困っていたら助けたい。** 困っている人や助けてほしいと頼まれると嫌とは言いにくく、これが孫や息子であれば、声の確認などする間もなく、会社に迷惑をかけたらいけないという世間体が先に立ち、オレオレ詐欺などにだまされてしまいます。

【高齢者の社会参加】

高齢社会になり、年々一人暮らしの高齢者が増加していることから、詐欺電話がかかってきてもすぐに相談する相手がいないことが原因の一つです。孤立や孤独を防ぐには、日頃から社会活動やふれあいの場に参加することが必要です。仕事ばかりではなく地域活動、ボランティア・趣味など参加できる場面を増やし、人とのつながりを作っていくと、情報をもらったり、いざというときの相談にもつながります。

今後長寿社会を生きていくためには、地域との関わりが重要なカギとなります。

人は人によってつながり、それが支え支えられる関係になっています。

「社会活動に参加して良かった」

「新しい友達ができて良かった」と、そんな体験や経験をしてほしいと思います

いろいろな場所に出向いていきましょう。

倉吉警察署からのお知らせ

詐欺の被害が連続発生！次のことに注意してください！

警察官をかたって電話をかけて訪問し、隙を見てキャッシュカードを偽物にすりかえて持ち去り、預金が引き出される被害が発生。

市役所(役場)職員をかたって保険料の払い戻しがあると電話をかけ、ATMに誘導し、電話で指示をしてATMを操作させ、預金を送金させられる被害が発生。

警察です。あなたは被害にあっています。口座を止める手続きをします。これから伺います。

市役所です。健康保険の還付金があります。ATMで手続きします。

キャッシュカードを他人に渡さない！暗証番号を教えない！

ATMで還付金は受け取れません！

相談窓口：倉吉警察署 ☎0858-26-7110

地震に備えて対策をしておきましょう

1月1日に起きた能登半島地震は甚大な被害をもたらし、約230人の尊い命が奪われました。また、電気や水道の断絶や道路など復旧も困難な状況が連日続いています。

マグニチュード7.6は阪神・淡路大震災や熊本地震より大きく、能登朝市の火災現場ではまだまだ捜索が続けられています。地震大国と言われる日本では、いつ大きな地震が我が身に起きるのかとても不安ですが、想定できる範囲で対策をし、大切な命や財産を守りましょう。

少しずつ自分にできることから取り組んでいきましょう。

【家の中では】

ガラスの飛散防止

家具などの固定

- ・地震の揺れがきたら丈夫な机の下に入る。(比較的安全な狭い部屋(トイレ・浴室))
- ・ベッドやタンス等は下敷きにならない方向を考えて設置する。
- ・家具には転倒防止金具をつける。
- ・備蓄として水や食料を準備しておく。
- ・家族と避難場所を決めておく。
- ・地域の防災訓練に参加し危険場所などの共有をしておく。
- ・情報の入りやすいラジオなどを準備しておく。

飲料水

食料

衛生用品

照明器具

令和6年能登半島地震災害義援金（日本赤十字社）の募集のお知らせ

倉吉市社会福祉協議会では義援金の受付をはじめました。

★ 募金箱場所

- ・倉吉市福祉センター
- ・倉吉市第2庁舎 1階市民課前
- ・倉吉市立図書館 倉吉交流プラザ
- ・伯耆しあわせの郷
- ・倉吉市高齢者生活福祉センター（関金）

★ 設置期間 令和6年1月5日～12月27日

★ 領収書が必要な方は倉吉市社会福祉協議会窓口にお越しください。

- ・受付窓口 ①倉吉福祉センター
- ②倉吉市高齢者生活福祉センター（関金）

募金は、定期的に募金箱より回収し、日本赤十字社を通して全額被災地に送金します。